

人・暮らし・環境に、やさしくあたたかく

働く人のための 生活相談センター



労働者の生活の悩み解消に期待

生活に関わるあらゆる相談に、専門のアドバイザーが無料でこたえる「勤労者ワンストップサービスセンター／働く人のための生活相談センター」を開設しました。これは、労働金庫、全労済、連合沖縄と労福協の四団体が連携して、勤労者の生活を守り向上させるための社会貢献活動として設置したものです。また、地域やボランティア団体とも連携し、子育て支援、障害者支援などの拠点としても活用を考えています。

行列のできる法律相談

開設から3ヶ月が経過した現在、多くの相談者の来訪を受けています。相談内容のなかでも法律相談は、まさに「行列の出来る法律相談所」という感じで、毎回予約で埋まるほど利用されています。住宅相談、カウンセリングは相談者が少ないとはいえ、いくつかの相談事例では、来訪者が十分納得し満足した表情で帰る姿が見受けられます。

子育て支援

子育て支援については最も多く活用され、ボランティア団体と労福協の具体的事業も協働で進められています。今年2月3日には、「沖縄県ファミリーサポートセンター連絡協議会」の結成総会が行われ、県内のファミリーサポートセンターと子育て支援ボランティア団体、沖縄県、21世紀職業財団を含め、主な子育て支援団体が集まりました。その結成に向けては、労福協が中心的役割を担っています。

困った時の助っ人

特筆されるのは、労福協が厚生労働省から委託を受ける「緊急サポートネットワーク事業」が、今年10月から開始されます。事業は、急な残業、出張や病気、病後の子どもの一時的預かりなどを補うものです。この事業は労福協が受託し、ファミリーサポート連絡協議会を中心とした、子育て支援団体と協働で、働くお母さん、お父さんを応援します。



開 所 式

2005年11月28日に行われた『働く人のための生活相談センター開所式』では「労福協第9回勤労者チャリティーゴルフ大会／中部・北部地区会場の収益金贈呈式」、「連合沖縄青年委員会5時間耐久チャリティーボーリング大会の収益金贈呈式、そして連合本部より「連合愛のカンパ」の贈呈式も併せて行なわれました。



寄附金、カンパ金の寄附団体



【労福協チャリティーゴルフ収益金】
中部地協議長 大城 早志
「沖縄県重症心身障害児（者）を守る会
在宅部会トライアングル中部グループ」
名幸 啓子さん



【連合沖縄青年委員会
チャリティーボーリング大会収益金】
委員長 大嶺 克志
「手作り工房Co.co」 高甫 めぐみさん



【連合愛のカンパ】
連合本部 総合財政局長 阿部 道郎
「介護を考える女性の会」 堀川 美智子さん

生活相談

賃金・解雇
残業・年金・医療
セクハラ・パワハラ

子育て・介護

子育て相談
介護相談
障害者福祉

法律相談

交通事故・サラ金
相続・訴訟
離婚・ヤミ金融等

建築相談

無料見積
見積診断・リフォーム
建築相談

カウンセリング

メンタルヘルス
（本人以外でも、家族
ご友人でもOK!）

生活に関わるあらゆる相談に
専門のアドバイザーが
無料でお答えします。

毎週水曜日はより詳しい専門家があなたの相談をお受けします。

お仕事後も大丈夫！PM:3:00～PM7:00（要予約）

- | | |
|------------|-----------------|
| ①（毎月第1水曜日） | 住 宅 相 談 |
| ②（毎月第2水曜日） | カ ウ ン セ リ ン グ |
| ③（毎月第3水曜日） | 法 律 相 談 |
| ④（毎月第4水曜日） | 子 育 て ・ 介 護 相 談 |

比嘉浩 1 級 建 築 士
（社）日本産業カウンセラー協会
島袋隆 弁 護 士
子ども・家庭リソースセンターおきなわ
介護を考える女性の会

TEL.098-930-6029
FAX : 098-930-6030

主 催（財）沖縄県労働者福祉基金協会
住 所 〒904-0032 沖縄市諸見里3丁目7番1号
営業時間 月曜日～金曜日 10:00～19:00

※水曜日は各種専門相談対応

第9回勤労者チャリティーゴルフ大会

県内4会場で熱戦！

第9回勤労者チャリティーゴルフ大会が県内4会場で開催されました。

勤労者チャリティーゴルフ大会は、勤労者の交流と連帯、健康増進、さらには参加費の一部を福祉団体へ寄附することで社会貢献を行うことを目的に開催され今年で第9回を数えております。過去8回の開催の中で、延べ24の授産施設等福祉団体に寄附が行われ、社会貢献の一環として十分な役割を果たしてきました。

今年も4会場において、現役の勤労者をはじめ、退職者、家族を含む多くの関係者合計431人の参加があり、珍プレイあり好プレイありと、大いに盛り上がった大会となりました。各会場とも大会終了後反省会と表彰式が行われ、和やかな雰囲気の中で終了いたしました。

各会場の参加者、表彰者は次の通りです。

■ 中部・北部地区：開催日時／2005年9月30日

場所／沖縄国際ゴルフクラブ

参加人数／86人

表彰者：優勝 岸本 強 (労金退職者友の会)

第二位 仲間 英勝 (金武町職労)

第三位 久保田和弘 (与那城町職労)

■ 浦添・南部地区：開催日時／2005年10月18日

場所／バームヒルズゴルフリゾート

参加人数／172人

表彰者：優勝 新垣 正次 (具志頭村職労)

第二位 宮城 好武 (南風原町職労)

第三位 比嘉 憲次 (うるま婦人寮)

■ 八重山地区：開催日時／2005年10月18日

場所／サンコーストゴルフコース

参加人数／43人

表彰者：優勝 浦崎 善一 (石垣市職労)

第二位 大浜 敦志 (石垣市職労)

第三位 与那覇正之 (労金退職者友の会)

■ 宮古地区：開催日時／2005年11月27日

場所／エメラルドコーストゴルフコース

参加人数／130人

男性の部

表彰者：優勝 砂川 尚哉

第二位 糸数龍一郎

第三位 下地 康教

女性の部

表彰者：優勝 垣花 直子

第二位 程田今日子

第三位 仲宗根恵利子



【第9回(2005年)労福協チャリティーゴルフ大会地区別参加状況】

地区別	開催日	コンペ会場	参加人数
中部・北部地区	9月30日(金)	沖縄国際ゴルフクラブ	86人
南部・浦添地区	10月18日(火)	バームヒルズゴルフリゾート	172人
八重山地区	10月30日(日)	サンコーストゴルフコース	43人
宮古地区	11月27日(日)	エメラルドコーストゴルフコース	130人
合計			431人

【寄附先一覧】

地区別	贈呈日	寄附先	寄附金額
中部・北部地区	2005年11月28日	沖縄県重症心身障害児(者)を守る会 在宅部会トライアングル中部グループ	100,000円
南部・浦添地区	2006年2月14日	療育ファミリーサポートほほえみ	100,000円
八重山地区	調整中	調整中	
宮古地区	調整中	調整中	



第31回勤労者美術作品展

県内に住む勤労者ならどなたでも応募できます

【第31回沖縄県知事賞】



■ 絵画「緑おりなす」金城 恵美子

■ 写真「かじまや」嘉数 和子

■ 書道「漢詩」新崎 みつ子

【第31回労福協理事長賞】

■ 絵画の部 ■

■ 写真の部 ■

■ 書道の部 ■



「入江へのさそい」古堅 久子

「明日を思う」栄野比 真須江



「樹が抱える村」真志喜 幸子

「熱演」中山 清光

「篆刻」嘉納 京子

「漢詩」上原 美枝子

第31回勤労者美術作品展の入賞作品展示会が2005年12月14日(水)～18日(日)リウボウホールにて行われました。約60点の出展があり、その中から選ばれた各部門の県知事賞、労福協理事長賞は以上の通りになりました。来年度も多くの方の出展をお待ちしております。



「沖縄県ファミリーサポートセンター連絡協議会設立総会」を開催

「沖縄県ファミリーサポートセンター連絡協議会設立総会」が今年2月3日沖縄市の「働く人のための生活相談センター」で開催されました。子どもを持つ親が安心して育児と仕事を両立できる環境が求められる中、各センター間での情報交換や研修の機会が少ないことから設立されました。地域の援助活動などの課題を解決し、質の高いアドバイザーを養成するためのスキルアップ研修会、講習会、アドバイザー同士の交流等を目的としています。

強力なバックアップ

役員には、会長、副会長とも既存3市（沖縄市、那覇市、名護市）のアドバイザーが就任し、理事には県雇用労政課と、当労福協が入りバックアップ体制を整えました。また、会員には21世紀職業財団、既存市町村担当課、NPO団体等合わせて12団体が参加してのスタートとなり、今年設立予定のうるま市、浦添市も設立後に加盟する予定です。



会長に與座初美さん

ファミリーサポートセンター連絡協 12団体参加し設立総会

名護市ファミリーサポートセンター、宮古島市ファミリーサポートセンター、那覇市ファミリーサポートセンター、県労働者福祉基金協会など12団体が参加した。当日の事業計画として講演会、リーダー研修会などを行う。

琉球新報 2月9日（夕刊）



一 労福協設立記念講演一

労福協フォーラム

庶民派経済学

こんな時代でも、たくましく生きる！



経済アナリスト

森 永 卓 郎

【森永氏講演に200名余が参加！】

昨年度、沖縄県労働者福祉協議会から「財団法人沖縄県労働者福祉基金協会」として新しく生まれ変わり、その設立記念として「2005労福協フォーラム」を2005年7月29日にホテル日航那覇・グランドキャッスルで開催しました。講師には、テレビ番組出演や数々の著書で有名な森永卓郎氏を迎え、200名余の参加者が集まり大盛況でした。

フォーラムでは、まず主催者を代表して当財団の狩俣理事長のあいさつで始まり、続いて沖縄県観光商工部長

（代読／喜納喬 産業雇用統括官）の挨拶を受け、森永先生の講演に入りました。

講演では、「庶民派経済学 こんな時代でも、たくましく生きる！」の演題で、森永先生の斬新で理論的な切り口に併せ、先生の個人的秘話や独特なユーモアを織り交ぜた、笑いの絶えない大変意義のあるフォーラムとなりました。参加者全員が森永先生の話に夢中になり最後まで熱心に聞き入っていました。

「緊急サポートネットワーク事業」を受託

「緊急サポートネットワーク事業」とは、厚生労働省の委託事業で、次世代育成支援の一環として、育児等を理由とする離職防止策や雇用の継続を図るためのさらなる取り組みとして、病気や病気回復期の子どもの預かり、急な出張等の際の宿泊を含む子どもの預かり等、育児に係る臨時的、突発的、専門的なニーズへ対応するために国が推し進めている事業です。現在既に39都道府県で、事業展開されています。

沖縄県は、その部分で全国に比べ遅れをとっており、沖縄県労福協として、沖縄県の育児と仕事との両立支援・次世代育成支援という観点から、昨年末から先進の石川県労福協への視察研修や、石川労福協の才田専務を講師として沖縄に迎えての講演会、沖縄県ファミリーサポートセンター連絡協議会設立に至るまでのバックアップを含め、「緊急サポートネットワーク事業」受託に向けて準備を進めてきました。

そんな中、3月の初旬にようやく厚生労働省から「緊急サポートネットワーク事業」の受託が決まり、2006年10月から事業展開していく運びとなりました。

公益法人として、社会的役割を果たすためにも、会員団体、子育て支援にかかわる行政、経営者団体、NPO団体等とも連携して「緊急サポートネットワーク事業」を展開していきます。

- ① 事業拠点は沖縄市の「働く人の生活相談センター」に設置します。また、市部的拠点を北部、那覇、南部等にも設置を検討します。
- ② 沖縄県のファミリーサポートセンター連絡協議会と連携し、事業実施に向けて子育て中の父母、関係機関職員、子育てNPO等に対する情報を提供、啓発・研修事業を行います。
- ③ 事業開始は、今年10月を目途とし9月に事務所開設を行います。受託費にかかる経費処理は、特別会計を設け対応します。
- ④ 事業実施にあたっては、沖縄県ファミリーサポートセンター連絡協議会をはじめNPO等と連携し、対象者を障害のある子どもを含めた事業展開を目指します。

「子育てサポート
ネットワーク推進講演会」を開催

～労働者の育児等に関する緊急のニーズへの対応策～

【講 師】 才田 巖 氏 (社)石川県労働者福祉協議会専務理事)

【演題】「地域における子育て支援
—安心して暮らし、働ける社会を目指して—」



クレサラの高金利引き下げ等を求める取り組みについて

これからの活動

現在中央労福協を中心に、連合、司法書士会や弁護士会等とも連携して、クレサラの高金利引き下げを求める運動を進めています。

■ 当面の動き

- ① 諸要請行動（県議会要請、地方議会要請、議員要請）
- ② 署名活動
- ③ 街頭宣伝
- ④ セミナー・シンポジウムなどの運動展開

■ 要請内容

- ◆ 多重債務者の相談制度を強化する。
- ◆ 出資法に違反する消費者金融への取締りを強化する。
- ◆ 出資法の上限金利を利息制限法の上限金利まで引き下げ、貸し出し金利の引き下げを図る。
- ◆ 消費者の自立に繋がる消費者教育、広報活動を強化する。

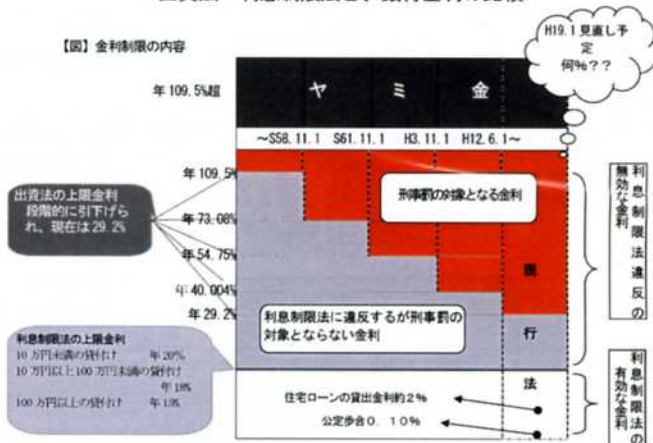
クレサラの高金利を引き下げる運動

消費者金融、いわゆる「サラ金」といわれる貸金業による高金利と過酷な取り立て、過剰融資納等に象徴される多重債務問題が社会に大きな陰を落としています。個人破産件数は年間20万件を超え、経済的理由による自殺者は8,000人を超える勢いです。

潜在的多重債務者は200万人にも及ぶと云われています。労福協は、かねてより経済的弱者を苦況に追い込んでいる貸金業の経営姿勢を糾弾するとともに出資法の上限利息（29.2%）を利息制限法の上限である15～20%に引き下げよう要求してきました。

運動の高まり等により、政府は本年中に関連法の全面見直しを予定しています。それに向けて、地方議会への「意見書」の採択要請、自治体要請等を行います。また、総合的な労働者福祉の向上に向けた政策要求の提出を追求します。

出資法・利息制限法と、銀行金利の比較



<資料1>

【表】返済シミュレーション

借入金額	出資法 年29.2%	利息制限法 15%	住宅ローン 2%
100万円	月額返済 42,015円 3年間の利息合計 512,540円	34,665円 247,940円	28,630円 30,703円
200万円	月額返済 84,029円 3年間の利息合計 1,025,044円	69,331円 495,916円	57,260円 61,406円
300万円	月額返済 126,044円 3年間の利息合計 1,537,564円	103,996円 743,856円	85,890円 92,109円

上段：借入金額を3年間の元金等払いで返済する場合の、毎月の返済額

下段：3年間で支払わなければならない利息の総額

<資料2>



コープおきなわは30周年を迎えました。
1978年2月29日、「子ども達に本物の牛乳を飲ませたい」という思いから、牛乳の出産を出し合い、コープおきなわの前身となる沖縄県民生活協同組合を設立しました。それから30年、今では組合員18万人とその数は大きく広がっています。

ANAで行く かりゆしツアー 06'年3月～5月
日本有数の桜名所を揃えました!!
桜を見ながら温泉で日本の春を満喫して下さい!!
3月の霧島・熊本から4月の関西・関東5月の北海道まで!!

お問い合わせ・ご予約は
沖縄県知事会観光旅行業第2-9号・全国勤労者旅行協会
法人 沖縄ユニオンツーリスト
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-14-12
TEL (098)863-7578

HP <http://www.union.or.jp>



有担保ローン金利優遇キャンペーン

ありがとう40周年。

お取り扱い期間：2007年3月31日（金）まで

虹の住宅ローン
(固定金利選択型・3年もの)

1.75%

(優遇金利適用後・保証料別)

好評実施中!

住宅の新築・購入、宅地・マンション購入、
リフォーム・借換えをお考えの方へ

※ご融資にあたっては当庫所定の審査がございます。

ろうきん住宅ローンのメリット!

- 事務手数料は
- 繰上げ返済手数料は

0円

- 安心の共済つき
生命共済
最高3,000万円
掛け金はろうきん負担

ご負担は

0円



ZENROSAI NEWS



責任品質。

ずっと変わらぬ「安心」を、 お届けするために。

こくみん共済

総合医療共済

マインド (共済)

自然災害保障付 火災共済

自賠責共済

団体生命共済

慶弔共済

総合医療共済

せいめい共済

ねんきん共済

マイカー共済

交通災害共済

セット移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資金をお支払いいただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会